

## ■事前評価シート(温暖化対策分科会)

## 政策目標4 気候変動に対応できるまち

## 施策⑩家庭・事業者の省エネルギーの推進 (p50)

## 【評価できる点】

- ①各種の普及啓蒙活動を行っていることは評価できる。
- ②WEB や広報誌、市役所等を活用した情報発信を広く実施していること。
- ③再生可能エネルギー100%電力に切り替えられた市内事業者にお礼状を進呈され、市HPにて紹介されたことは評価できる。
- ④ポスターを作成し、市民への啓発活動が行われている。
- ⑤茅ヶ崎バイオマス発電所(2021年8月稼働)は、何もしなければ産業廃棄物となる草木灰を、湘南地域から発生する剪定枝100%の木質燃料に限定し、ミネラル豊富な草木灰とし活用している。
- ⑥茅ヶ崎市の特徴ある取り組みである「ちがさきエコネット」を継続して利用した情報発信等の取り組みはエコファミリー登録世帯数が順調に増加している等の成果が認められることから評価できる。
- ⑦令和3(2021)年度に市のホームページに設けた気候変動特設ページをリニューアルし、「気候変動問題・脱炭素を動画で学ぶ」ページ等を作成し、情報発信に工夫を施したことは評価できる。尚、【今後検討すべき課題】の項に課題を記述した。
- ⑧市外からの転入者や市内在住者に対し、市の取り組みや役立つ情報等を紹介する市民便利帳2022年度版に、茅ヶ崎Topics『「ゼロカーボンシティ」を実現するために』他、「ちがさきエコネット」のサイトと、環境に配慮した設備等への補助金等の紹介を掲載したことは評価できる。
- ⑨地球温暖化対策及び再エネ利用の普及・啓発に関して、年間を通して環境問題を市民に周知する普及・啓発活動に努めるとともに、昨年度に引き続き懸垂幕を庁舎に掲示し、継続してゼロカーボンシティをPRした広報、再エネについての理解を深めるための積極的な活動、「省エネ家電買替キャンペーン」等の取り組み、省エネ術・節電対策・省エネ対策・気候変動対策を情報提供・発信したこと等の取り組みは評価できる。
- ⑩市庁舎を含めた市の公共施設に対して「再生可能エネルギー100%」の電気に切り替えたこと、さらに今年度は市立病院にも導入・拡大し、今後、市の公共施設全体の電気使用量の約72%が再エネ電力に達する見込みであることは「ゼロカーボンシティ」としての範を示す点でも高く評価できる。
- ⑪市ホームページの気候変動特設ページの「茅ヶ崎市の再生可能エネルギー設備容量」ページ等にて、再エネに関する情報発信を行っていることは評価できる。尚、【今後検討すべき課題】の項に課題を記述した。
- ⑫各種再エネ導入推進キャンペーン等の取り組みについて、各種媒体で情報提供したこと、太陽光発電普及啓発基金を活用した団体・事業者向け太陽光発電設備設置補助事業について市ホームページ等で周知を図ったことは、本市の太陽光発電設備の導入件数及び設備容量の増加が報告されているように設備導入状況は順調であり、この増加率を維持することは、施策⑩再生可能エネルギーの適切な導入の推進の中間及び期末目標の達成に繋がることから評価できる。尚、【今後検討すべき課題】の項に課題を記述し、本年次報告書に記載のない再エネの導入状況等を、施策⑩の項の【今後検討すべき課題】の項に記述した。
- ⑬省エネに関する啓発活動として、着実に手広い広報を展開し、学習・研修の機会の提供を続けている点は、とても良いと思います。

⑭その広報も、関係団体、企業、学校などとの連携によるものが含まれ、伝えることに加えて「一緒に取り組もう」とする気持ちを高めるような啓発へと巻き込む仕組みがあるのも重要と言えます。

#### 【今後検討すべき課題】

⑮一市民・事業者としてほとんどの活動を知らなかった。実際にどの程度情報が市民に伝わっているか疑問。

⑯初期費用 0 で太陽光は、誤解される場合もあるので注意が必要。ただではない。

⑰カーボンニュートラルについて、幅広い層に理解いただくようわかりやすい展開が必要。

⑱市内事業者（優良事例）が取り組まれている脱炭素化の内容を更に見える化し、市民・事業者へ啓発していくことも効果的と思います。再生可能エネルギー100%電力の他にも、CO<sub>2</sub>削減に取り組まれている企業（公共施設含め）も含め紹介する（市内地図上に落とし紹介していく等⇒（案）ちがさき市内脱炭素化取り組みマップ）。

⑲清水谷ではナラ枯れ対策で、2022 年伐採予定の枯木が 100 本以上未実施の状態。緊急性あり崩壊しそうな大木、日当たり良くない雑木が人手&搬出費用不足のため、放置された状態にある。行政は関係部課並びに市民団体・事業者と協議し、地産地消を推進すべき。

⑳エコファミリー登録世帯の中で環境家計簿にデータを入力する世帯を増加するような使用のメリット等のアピールを検討すると良い。本市内の家庭部門のエネルギー消費量のデータとして重要な情報になる。

㉑気候変動特設ページでリニューアルした「気候変動問題・脱炭素を動画で学ぶ」ページは、視聴者が気軽に質問し学習できるようなサイトを検討すると良い。

㉒市ホームページの気候変動特設ページの記載内容と、本年次報告書等の市の情報発信内容の相互間に齟齬のないように努め、可能な限り正確な内容の情報発信であることが望まれる。

㉓各種再エネ導入推進キャンペーン等の取り組みに、国が令和 4（2022）年 4 月から始めた FIP 制度の情報を、市の HP、広報紙、「ちがさきエコネット」等に掲載することは効果的である。施策⑱の項の【検討すべき課題】中でも記述した。

㉔資-4 の部門別のエネルギー消費量の主な増減要因の表中に、前年度比及び前年度の令和元(2019)年度からの主な増減要因の記述も重要である。

㉕本年次報告書は、新型コロナウイルス感染症が全国的に蔓延した令和 2(2020)年度の市域のエネルギー消費量・温室効果ガス排出量(CO<sub>2</sub>,eq)が報告されている特別な年度の報告書である。この重要な年度のエネルギー消費量・CO<sub>2</sub> 排出量のデータは、これまで公表されたこともなく、結果に裏付けられた取り組みの評価、各部門の増減要因の解析もないままになってしまうことから、解説・記載が必要である。

㉖令和 4(2022)年度は COVID19 が沈静化し始め、経済・社会活動が戻り始めた年度である。本市における COVID19 対策として取り組んだ結果が、エネルギー消費量・CO<sub>2</sub> 排出量にどのような影響があったのかを記載しておくことが、今後の地球温暖化に起因した熱中症を含めた感染症対応に有効であるとともに、結果として得られた CO<sub>2</sub> 排出量の増減因子を解析しておくことも重要で、且つ今後の CO<sub>2</sub> 排出量のリバウンドが抑制されたかどうかを中間・最終報告書で纏める際にも有効と思料する。本施策の取り組みに、グリーンリカバリーと関連した産業・業務その他・運輸部門における取り組みが殆どないように伺える。令和 5(2023)年度にどのように取り組むのかが課題である。

㉗茅ヶ崎市環境基本計画（2011 年版）進捗状況報告書(令和 3 年度版)の p.56 に掲載されている「月

毎のエネルギー（電気）使用量を前年度よりも削減できた世帯数」では、実例としての市民の電気エネルギーの消費量のデータが得られている。一方、本年次報告書の資-4に記載のある家庭部門のエネルギー消費量は、3年前の令和2(2020)年度のデータであるとともに、家庭部門のデータは神奈川県全体の世帯当たりのエネルギー消費量に本市の世帯数を乗じて推算した値であり、一概に茅ヶ崎市の家庭におけるエネルギー消費量とは受け入れ難い。両者の世帯当たりのエネルギー消費量・CO<sub>2</sub>排出量を比較することで、茅ヶ崎市の地域性を加味した解析が可能となる。速報としての現況報告にもなり、資-4のデータの意味が理解しやすくなるとともに、市民意見に応えることにも繋がることから、毎年継続してデータを収集し報告することを検討すべきである。

- ⑳本年次報告書に電気自動車(EV)及び付随する高速充電設備に関する普及・補助・支援の情報発信を含めた取り組みが本施策の取り組みに記載がない。低公害車の導入・登録台数の令和4年度までの実績は、既に公開されている。電気自動車(EV)の普及・現況を市民に年次報告書に含めて報告することは重要である。
- ㉑電気自動車(EV)及びハイブリッド車(HV)、プラグ・イン・ハイブリッド車(PHEV)のエネルギー消費量・CO<sub>2</sub>削減量は、現行の算出方法では計算できない。来年度の施策評価、基本計画の見直し時に修正が必要となるエネルギー消費量・CO<sub>2</sub>削減量の算出方法の確立が重要な検討すべき課題である。又、電力消費量を運輸部門に計上するのか、家庭あるいは事業所・各種店舗等の第三次産業が属する産業、業務・その他部門に計上するのかを議論し、決定することも課題である。
- ㉒市域のエネルギー消費量及びCO<sub>2</sub>排出量の計算に使用している現行法を、電気自動車(EV)等、太陽光発電等の再エネの導入等が進むことを想定し、茅ヶ崎市の年次報告書に相応しい本市の特性が反映できる算出法を検討し、確立しておくことが重要な課題である。
- ㉓Googleのオンラインツール「Environmental Insights Explorer EIE」を活用し、市域の温室効果ガスの排出量の推計値や、太陽光発電設備の導入による温室効果ガス削減予測量等の情報を、引き続きインターネットで公開したことはある程度評価できるが、本審議会に於けるCO<sub>2</sub>削減量の計算方法が家庭部門、産業部門、更には運輸部門では大きく異なることから、Google EIEによる温室効果ガス削減予測量等の情報公開・提供に関しては、市民・事業者に誤解を招かないような配慮が必要である。
- ㉔「ごみの減量化・資源化に関する啓発」の事業で、一般廃棄物のごみ焼却時に化石燃料焼却とみなされ、CO<sub>2</sub>排出量で問題となる廃プラスチック類ごみの分別の状況、カーボンニュートラルの観点から、ごみ焼却時のバイオマス発電によるCO<sub>2</sub>排出削減効果の年度毎の推移の情報を公表するとともに、廃棄物処理に伴うCO<sub>2</sub>(eq)排出量の増減要因分析の結果を毎年の年次報告書に記載・報告することは重要である。
- ㉕『CO<sub>2</sub>排出実質ゼロ』あるいは『カーボンニュートラル』を分かりやすく解説し、茅ヶ崎市が目指す『ゼロカーボンシティ』の将来像を説明することは、「施策評価」の基準の明確化にも繋がるとともに、今後の取り組み及び温暖化対策施策の事業策定に有効と料する。
- ㉖気候変動により「地球沸騰化」(国連)に入ったとも言われることにより、今後、家庭・事業者への啓発は、さらに具体的な行動へと導く積極的な広報が望まれます。
- ㉗そのためにも、状況を「知らせる」意味を持つ広報とともに、一緒に行動しようとする啓発が可能となるよう、より積極的な選択を誘発する(温暖化防止にとって望ましい選択肢を選びやすい)仕組み(インセンティブ、積極的な褒賞・表彰などを含むもの)をとともなう啓発を検討する時期にあると思います。

施策⑰公共施設の省エネルギーの推進 (p54)

【評価できる点】

- ①予算の範囲内で頑張っている。
- ②ハード面、ソフト面の両面において省エネルギーの推進をしていること。
- ③2022年7月から市庁舎や小中学校19校、公民館4か所、下水道のポンプ場7か所など52施設で使用する電気を「再生可能エネルギー100%」の電気に切り替えた（高圧受電施設）。52施設の年間使用電力（約1,059kwh）に対し、年間約5,136t-CO<sub>2</sub>削減効果につながっており評価できる。
- ④みどりのカーテン、LED照明、エコボイド開放など、こまめに省エネ実施している。
- ⑤C-EMSの文書監査結果、28課・庁(かい)の監査対象所属、及び訪問監査4施設の何れも該当する指摘・改善事項が無く、積極的にC-EMSの運用に取り組んでおり、環境活動が適切に実施されていると判断され、種々の省エネ・省資源・環境教育・環境学習を取り組み、良好事項として評価されている取り組みも多く評価できる。さらに今年度は、東京第三者評価委員会により、自治体エコステーション規格に基づき、適切に実施されていることが確認されていることも評価できる。
- ⑥C-EMSの適正運用が効果的に行われ、多くの成果が認められていることは評価できる。
- ⑦市が支援している「道の駅」が、ほぼZEB(75%程度削減とのこと)の施設であり、且つEV用の充電器も設置する予定であることは評価できる。
- ⑧市における率先的な取り組みに関して、市庁舎はじめ市内52施設で使用する電気を再生可能エネルギー100%の電気に切り替え、取り組みをさらに拡大・継続し、市立病院にも同様の電気を導入した等の実績は、市が率先して重点施策を率先し範となる取り組みを継続して実施していることは高く評価できる。又、これまで比較的導入が遅れていた公用車に電気自動車の導入が始まったこと等の実績も同様に評価できる。尚、施策⑯の項でも情報発信の観点で評価した。
- ⑨ちょこエコ月間(夏・冬)として、オフィスでできる季節の省エネアイデアをポスターで周知するとともに、C-EMSレターを5月、10月、2月に発行し、ゼロカーボンシティに向けた取り組み等を職員に周知したことは評価できる。
- ⑩市内の公共施設において、みどりのカーテンの実施、LED照明の公共施設への導入、コミュニティセンターに高効率空調室外機の導入等は、省エネに繋がる継続した計画的な取り組みとして評価できる。尚、みどりのカーテンの市民への配布に関する評価は後述する施策⑳健康被害対策の推進の項でも記述した。
- ⑪毎年継続して、表彰制度により、個別通知用封筒廃棄ゼロへの取り組み、廃棄防火服の再利用、及び電子入札システムの利用拡大・電子契約サービスの導入の省エネ取り組み、コミュニティセンターの指定管理者の活動等に対して、幅広く「茅ヶ崎市エコオフィス賞、エコ管理賞」を表彰したことは評価できる。
- ⑫エコボイド開放による外気導入（冷房削減）、中間期の便座、温水の使用停止、エアコン（冷暖房）の温度の上限設定、電力逼迫状況下における市役所庁舎内照明の照度削減及び一部消灯を行ったことは評価できる。
- ⑬太陽光発電設備・システムのさらなる普及を目指して、オンラインセミナー、説明会、研修にも参加して情報を得ていることも積極的な取り組みとして評価できる。
- ⑭例年の取り組みをもとにして、堅実な取り組みが行われ、着実な改善が果たされていると思います。
- ⑮公共施設でできることを中心に、C-EMSの適用もふまえ、さまざまな種類の改善が安定的に実施されている点は、とても良いと思います。

### 【今後検討すべき課題】

- ⑯電気自動車は、殆どが火力発電の東京電力管内では CO<sub>2</sub> 排出量はハイブリッドよりも多い。注意が必要。
- ⑰ハード面において老朽化している建物等をどのように対応していくか検討する必要がある。
- ⑱省エネルギーの推進として、「デコ活（環境省）＝脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の検討など
- ⑲窓の二重化、屋根エコボイド（外気換気）など省エネ建物の推進
- ⑳C-EMS の外部監査のコメントにある「エネルギー増加要因をコロナで片づけるのではなく、その他の要因がないか振り返ること、エネルギーが削減できている施設で実施している取り組みに関しては情報共有を図り、水平展開していくことが必要です(一部抜粋)」を受け止め、確実に実行に移すことが重要である。
- ㉑C-EMS による更なる改善提案を受けた具体的な取り組みの検討・実施が課題である。
- ㉒C-EMS による外部監査の PDCA サイクルに関して、C⇒A の改善前後の評価指標・評価方法を明確にするとともに、改善前のエネルギー消費量・CO<sub>2</sub> 排出量の状況に対して、実績ベースでの年度推移、基準年度及び前年度比に対する増減要因を、本市の特異性・特徴を加味した解析、さらに改善後の予測・目標達成見込み等の専門的な解析も含めた業務委託あるいは外注することを検討すべきである。
- ㉓ハード的対策にはお金がかかるため、必要な予算措置を積極的に講じていくべきではないかと考えます。
- ㉔ハード的対策の限界（取替すべき箇所や機材の減少、予算不足）も明らかになってきているため、ソフト面での対応を図る点は理解できますが、それにはソフト的対策の効果を幅広く測定する指標が必要でしょう。
- ㉕現在の政策指標には、ソフト対策の指標がほとんど設定されていないのも、今後の見直し時の論点となりそうです。

### 施策⑱再生可能エネルギーの適切な導入の推進（p56）

#### 【評価できる点】

- ①52 施設もの建物に再生エネルギー100%の電気に切り替えた点。
- ②6月の環境月間に向け5月下旬「環境月間パネル展」、12月「温暖化防止月間パネル展」、1月「気候変動対策パネル展」、2月「家庭でできる省エネ術パネル展」、3月「松林公民館まつりで気候変動対策パネル展」等、人が集まり目に留める場所で開催されたことは評価できる（寒川町と共同開催も含め）。
- ③市庁舎、小中学校、公民館、下水道ポンプ場など52市内施設で再生可能エネルギー100%電気に切り換え。
- ④令和4年度当初予定の、「ちがさきエコネット、市ホームページ、広報紙及びタウン誌等を利用した地球温暖化対策に関する普及啓発の実施」、及び「ちがさきエコネット、市ホームページ、広報紙及びタウン誌等を利用した再生可能エネルギー利用に関する普及啓発の実施」に関しては、前述した施策⑯家庭・事業者の省エネルギーの推進の項で評価済み。
- ⑤前述した電気自動車の導入に関して指摘した項と同様に、省エネ・CO<sub>2</sub> 排出量削減に有効な太陽光

発電設備の設置の現況も年次報告書に公表し、本施策の取り組みの成果を速報として公開することは、市民意見に応える意味でも重要である。

- ⑥再生可能エネルギーの導入に向けて市民や事業者が取り組みやすいよう、広報を中心に情報提供を続けている点が良いと思います。
- ⑦市民の身近なアイデアの交換をたすける仕組みがあるのも良いと思います。
- ⑧導入のための障壁となりやすい費用面については、補助金やキャンペーンなどの情報を提供しているのが良いと感じます。

#### 【今後検討すべき課題】

- ⑨弊社も2メガほど全国で発電所を持っているが、茅ヶ崎で行うには採算が合わない。
- ⑩太陽光は蓄電池とセットでないと効果が薄い。
- ⑪市民、事業者等が多く利用される場所でのイベント等において、茅ヶ崎市・寒川町協働で「気候非常事態宣言」の街として脱炭素化を推進（PR）していく。また、市内カーボンニュートラル優良企業も合わせて紹介していく。
- ⑫上記100%切り替え後1年経過した時点での更なる改善。例えば太陽光発電からの余剰電力を充電し、他に活用、外部電力の購入を節約する。
- ⑬令和4(2022)年度の4月から国が開始したFIT制度に代わるFIP制度の情報を、市民・事業者に広く周知させることは再エネ導入の推進に効果的である。施策⑩の項の【検討すべき課題】中でも記述した。
- ⑭省エネ啓発と重ねる形で、再生可能エネルギーの導入が進むよう、さらに具体的な情報提供と行動の誘発が求められていると思います。
- ⑮そのためには、太陽光発電システムの評価を中心とする指標体系から、より広範な再生可能エネルギー導入に関する指標への変更などが、今後の検討課題となりそうです。

#### 施策⑱自然災害対策の推進（p58）

##### 【評価できる点】

- ①啓蒙活動を行っているのは理解できた。
- ②昨今の気候変動について周知をしている点。
- ③2市1町広域連携（湘南エコウェーブ）による啓発活動で、気候変動講演会「気象予報士・天達武史と考える気球温暖化」オンラインは、初めての方でも分かりやすい講座で評価できる。
- ④「下水道だより（2022年10月）」にて、気候変動による自然災害への影響等により、災害に備えるためにも自分自身でできる被害の防止や軽減対策を周知できたことは重要だと思います。
- ⑤各地で温暖化の影響による自然災害が多化している現在、茅ヶ崎でも洪水、土砂災害対象施設を見直し、増加した点。
- ⑥気候変動適応策に関する情報収集の一環として研修会の参加は、庁内の情報の共有による理解促進を進めることに繋がることから、ある程度評価できる。但し、後述する気候変動適応策の推進に向けた庁内調整等の際に有効に活用してもらいたい。
- ⑦変動緩和策は市民にも意義・目標・対応策が理解されつつあるが、気候変動適応策に関しての理解は進んでいないことから、気候変動適応策に関する普及啓発の種々の取り組みは重要であり評価できる。

- ⑧各種媒体を通じた防災知識の広報・啓発の実施、及び地区防災訓練や防災リーダー養成研修を通じた防災に関する理解の向上に関して、堅実な取り組みはある程度評価できる。
- ⑨気候変動適応策の推進に向けた庁内調整に関して、前述した各種研修会で収集した情報を含めて種々の情報の共有による理解促進を進めていることはある程度評価できる。
- ⑩適応策を中心とした情報収集が行われ、災害対策とも結びつけた情報提供を実施しているのが良いと思います。
- ⑪これらの情報収集と情報提供のため、庁内組織の横断的なつながりや調整が実施されている点も、評価できると思います。

**【今後検討すべき課題】**

- ⑫どのような災害を想定しているか明確にして、それぞれについて深掘すべき。
- ⑬防災対策課と連携して、避難所等の見直しが必要か？
- ⑭気候変動の講演会を通じて地球温暖化を抑制する意識付け、市内での自然災害リスクを多くの市民へ引き続き情報発信していく必要があると思います。
- ⑮上記の影響評価を継続展開し、実際に発生した際、後れを取らぬように！
- ⑯気候変動適応策に関しての短期的・中長期的な取り組み状況を具体的に公表することが望ましい。
- ⑰当初本市の人口はピークを過ぎると予想されていたが、継続して人口は増加し、少子高齢化が進んでいる現状を鑑みると、インターネット・携帯電話等の使用に慣れていない高齢者は受け身的にしか情報を得ることができない。高齢者に向けた気候変動適応策としての健康被害対策と共に、防災・避難方法の周知が重要である。
- ⑱気候変動適応策の推進に向けて、情報の共有による理解促進を進める目的で、各種行事等を行う際には庁内・図書館等とのコラボだけでなく、小・中学校、地域の消防団、町内会等々と企画時から連携を進めることが効果的と思料する。
- ⑲茅ヶ崎市は、海岸領域、河川領域などを含み、水の管理が求められる地域ゆえ、災害別の情報提供のほか、暮らしの総合的な適応策に関する情報も重要となるでしょう。
- ⑳また、都市部の水問題としては、雨水排水や下水（下水道）の問題もあり、市内の情報だけでなく、広域連携による対策・対応や、その連携にもとづく都市基盤の整備等についても、既存の情報に加えて発信する必要があると思われる。

**施策⑳健康被害対策の推進（p60）**

**【評価できる点】**

- ①LINEを使ったことは評価できる。
- ②特に熱中症について強く周知啓発していること。
- ③公共施設において、市民へ省エネ効果も期待できる「みどりのカーテン」の普及のためゴーヤの苗の配布は温暖化防止に対する意識付けは評価できる。
- ④熱中症対策&プラスチックごみ削減等を踏まえ、公共施設（市内5施設6カ所）にウォーターサーバー設置について評価できる（キャリアワークステーション様との連携協定）。
- ⑤行政が主体的に、コロナ感染・熱中症対応をしている。（保健所、防災対策課&環境部）
- ⑥気候変動適応策に関する研修会への参加による情報収集、及びちがさきエコネット、市ホームページ、広報紙及びタウン誌等を利用した気候変動適応策に関する普及啓発の実施に関しての評価は、

施策⑨自然災害対策の推進の項、及び施策⑰公共施設の省エネルギーの推進の項に記載した。

- ⑦昨年に引き続き、涼しく過ごせて、省エネ効果も期待できる「みどりのカーテン」の普及のため、ゴーヤの苗を 302 世帯(去年は 194 世帯)に配布を行い、アンケート結果や投稿写真を、「ちがさきエコネット」で周知したことは、着実に配布先世帯数も増加しており、市民の理解・普及が進んでいるとして評価できる。
- ⑧熱中症予防に関する普及啓発の実施に関して、昨年度と同様に、広報紙・市ホームページ・タウンニュース、ロビーサイネージ・LINE 等を活用し、熱中症予防に関する普及啓発を実施し、また、熱中症警戒アラートについても展示や庁内放送で周知したことはある程度評価できる。
- ⑨日々の暮らしに近い、健康に関する問題だけに、市民に関心が高い情報を提示している点は、とても良いと思います。
- ⑩また、具体的で簡単なみどりのカーテンなどのキャンペーンによって、市民巻き込み型の啓発が実施できているのも良いと思います。

#### 【今後検討すべき課題】

- ⑪特にリスクの高い高齢者に対する施策が見当たらない。
- ⑫「ゴーヤの苗」の配布等も、市民が多く集まる場所も考慮し「みどりのカーテン」を促進していく(R4 年度、配布 302 世帯より増やせるか？予算も含め)。
- ⑬感染が更に拡大した場合の救急医療(救急搬送、保健所、市民病院他)対応
- ⑭少子・高齢化が進む本市としての具体的に行動が可能な気候変動適応策の取り組みを至急検討することは喫緊の課題である。
- ⑮省エネ情報が誤ったメッセージ(過度な節約や、健康リスクをもたらす機器・設備等の誤用)につながらないよう、常に適切な情報発信をしてくださればと思います。
- ⑯昨今の状況(暑さ対策等)から、省エネ機器の導入には良いチャンスでもあると感じますので、うまく実際の行動につなげる広報と啓発の展開が望まれます。

#### 政策目標 5 環境に配慮した行動を実践するまち

施策⑳学校における環境教育の充実 (p64)

##### 【評価できる点】

- ①出前授業等、積極的に環境の学習機会を創出していること。
- ②小中学校等を対象に、環境に関する出前授業も市職員の方々で行われ、実施件数も増えていることは評価できる。
- ③環境教育は学校ではなく、行政が主体的にやるべきであり、市職員による出前授業をしている。
- ④学校の取り組みに対する支援に関して、事務負担の軽減を図ったこと、昨年に引き続き市ホームページや教員向け情報通信「環境学習 News」で公表することで、各校の取り組みを相互に参考にできるようにしたこと、昨年と同様に小中学校の環境に関する取り組みをスクールエコアクション活動展を開催し展示するとともに、円蔵・室田小学校 2 校(去年は浜須賀・鶴が台・柳島小学校の 3 校)の取り組みを動画で紹介したことは評価できる。
- ⑤市職員による小中学校等を対象に、昨年度に引き続き各種出前授業を実施し、本年度は庁内各課が連携して実施し、又、昨年度と同様に環境事業センター施設見学会を実施したことは評価できる。
- ⑥環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール」の活用に関して、昨年度に引き続き、「環境学習 News」



- の内容の随時更新、新たな記事の掲載等とともに、学校関係者への周知を図ったことは評価できる。
- ⑦例年のことながら、学校との連携、学校での取り組みは、よく実施されていると思います。
  - ⑧スクールエコアクション、ちがさきエコスクール、出前授業、教員向けニュースレターといった各種の活動は、学校にとっても、生徒たちにとっても良い機会になっており、これからも続けてほしいと思います。

#### 【今後検討すべき課題】

- ⑨出前授業の生徒の反応・成果が不明。
- ⑩授業で教わった環境への関心を日常生活に反映できているかを、今後の授業で検証できればと思います。
- ⑪未来を担う子どもたちに、小中学校の学習プラン（授業）に取り入れ、環境の大切さを学び将来の地球温暖化対策の理解を深めることができると思います（民間企業の活用等も検討）。
- ⑫教職員に負担がかからないよう、行政が教育委員会、学校 PTA と主体的に行動する。
- ⑬各種出前授業、環境事業センター施設見学会終了後、担当教職員の大きな負荷にならないレベルで、生徒、学生から感想文提出、選択式アンケートの実施、講師・内容の評価を受け付けて、庁内各課で共有することは、今後の内容の改善・充実化に繋がり効果的である。
- ⑭市の職員が学校に出向く出前授業は、職員の生の声を届ける絶好の機会ですので、今後も実施回数や公演の質の維持に期待し、また、学校との適切な調整（誰にとっても無理がない実施にむけて）のもと、さらに発展させてほしいと思います。
- ⑮活動メニューが広がり、充実することで、むしろ、施策指標との整合性が取れず、難しい評価になる恐れがありそうです。施策指標の拡充も、検討が必要かもしれません。

#### 施策⑳地域における環境学習機会の拡充（p66）

##### 【評価できる点】

- ①ボランティア清掃の人数が増えているのは評価できる。
- ②施策㉑と同様に積極的に講座や見学会等を開催したこと。
- ③自然環境や気候変動に関する講座、見学会、観察会等について、防災対策課、環境政策課、景観みどり課、各公民館等で、各課の横の連携を図り実施されたことは評価できる。
- ④令和 5 年度版施策⑳（P66）の冒頭記述とおり。
- ⑤環境に関する講座、見学会、観察会等の実施に関して、防災対策課、環境政策課、景観みどり課、各公民館等で、自然環境や気候変動に関する講座を実施したことはある程度評価できる。
- ⑥生涯学習ガイドブックを 8 月に発行し、市民まなび講座として、「地域の災害リスクに備える（防災対策課）」、「茅ヶ崎市のごみと資源物について（資源循環課）」、「こんにちははパッカーくん（環境事業センター）」を開催したことは評価できる。
- ⑦新たな環境学習手段の検討の一環で、動画配信コンテンツの作成の取り組みとして、「気象予報士・天達武史と考える地球温暖化」、オンライン社会見学「車のエネルギーを学ぼう」を開催したことは評価できる。
- ⑧市民が参加できる学びの機会を提供し続けている点に、良さがあると思います。
- ⑨ボランティアなど、活動とともに理解する学習機会がセットされているのはとくに重要と思われます。今後も、ますますこうした活動の充実から、学習機会の拡充を図ってほしいと思います。

#### 【今後検討すべき課題】

- ⑩工夫などを講じながら、と書いてあるが、どんな工夫をしたのか不明。
- ⑪環境講座の実施数が計画よりも下回っているが、指標の方向性が上向いているのはなぜか？
- ⑫引き続き市民の参加を増やしていく施策を検討する。
- ⑬令和4年度地域清掃参加人数（3,869人）を中間年度（R7年度）に倍増（7,838人）させる工夫。
- ⑭環境に関する講座、見学会、観察会、及びオンライン学習等、さらには市のホームページに掲載されている種々の情報に対して、誰でも簡単に質問できる手段・対応法をAIによる回答も含めて検討すべきである。
- ⑮学習機会の拡充には、市の職員自身の活動も大切ですが、加えて、市民（市民活動）との連携により実施されるものもあり、そして、その重要性も高いと思います。これらの活動メニューのさらなる充実にむけて、検討をお願いします。
- ⑯実践型の学びにおいては、その機会や質の設定とともに、まだまだ検討の余地があると思います。そのためにも、市民、専門家などとの連携を強化し、学習メニューの充実に取り組んではいかがでしょうか。

#### 施策⑳庁内の環境意識の向上（p68）

##### 【評価できる点】

- ①市役所内における環境関係の研修や意識向上の取り組みを実施していること。
- ②電気自動車2台を含む、九都県市指定低公害車3台を導入と、再エネ100%電気で給電しEV車CO<sub>2</sub>排出量ゼロ！について評価できる。
- ③C-EMS外部監査で適切かつ効果的と判定された点
- ④C-EMSの適正運用に関する評価は、施策⑱公共施設の省エネルギーの推進の項で評価した。
- ⑤各種研修及び講習会へ職員を派遣に関する評価は、施策⑱公共施設の省エネルギーの推進の項、及び施策⑲自然災害対策の推進の項で評価した。
- ⑥C-EMSによる本施策の取り組みは、良好なものであると思います。
- ⑦各種研修会や関係機関への職員派遣の取り組みは、その本人の理解に極めて重要ですので、望ましいものであると思います。

##### 【今後検討すべき課題】

- ⑧庁内の環境意識の向上は当然であり、施策とするものではないのでは？
- ⑨公用車にCO<sub>2</sub>排出しない電気自動車の導入と、保有台数に合わせて充電スタンドの設置。
- ⑩各種研修会、関係機関への職員派遣を参加した部課個人単位でなく、庁内に共有化
- ⑪研修・講習会への市の職員の派遣、及び庁内の環境意識の向上に関しては、C-EMSのコメントを受け止め、庁内意識の向上に努めることが重要と史料する。
- ⑫職員派遣の取り組みは、日常業務遂行の関係から、拡大は難しい部分もあるとは思いますが、可能な限りの積極的な展開を期待しています。
- ⑬他の項目も同様ですが、庁内の環境意識の指標は、その時期、時代、社会面の変化などによって変わるべきものです。そこで、施策指標の内容は、適宜の見直しをしてはどうかと思います。

#### 施策⑭環境に配慮した活動への支援（p70）

##### 【評価できる点】

- ①様々な媒体を活用し、支援を実施していること。
- ②「事業者向けの環境に関する情報提供」について、市 HP の気候変動特設ページをリニューアルし、情報発信したことは評価できる。
- ③7月28日号タウンニュースで『自然環境評価調査』が4行にわたって掲載され、市民調査員を広く募集している点
- ④環境に関する講演会への支援の一環としての市ホームページ等を活用した市民活動団体が開催する講演会等の情報発信の実施に関して、昨年度に引き続き、環境に関するイベント等の後援、学習会や外来植物除去イベントに講師を派遣したことは評価できる。
- ⑤事業者向けの環境に関する情報提供の一環としての市ホームページ等による情報発信及び商工会議所等への情報発信に関して、昨年度に引き続き、多くの取り組みを継続して実施していることは評価できる。
- ⑥エコ事業者が26社、又、産業部門及び運輸部門からの事業者数が6(+3?)社に倍増したことは「ちがさきエコネット」事業が事業者に周知しつつある成果と認められ、評価できる。
- ⑦自治体による情報発信を中心とした支援は、活動を実施している団体には必要性が高く、それを定期的、継続的に実施しているのは好ましいと思います。
- ⑧エコ事業者の認定が進んでいる点も、良い成果だと感じました。

##### 【今後検討すべき課題】

- ⑨環境測定器何台貸し出したのか？
- ⑩活動数が減っている。
- ⑪費用が発生する対応について、計画から実施までどのように進めていくか。
- ⑫引き続き、温室効果ガスの削減量の変動を、市民・事業者等へ環境保全活動への関心や理解を深める啓発活動を推進していく。
- ⑬新たに認定されたエコ事業者の内、TOTO(株)茅ヶ崎工場を訪問したい。
- ⑭省エネナビ貸出しの取り組みは、10年以上前の仕様で、現況では使いづらくなったため、現在貸出しを中止しているとのことから、市民への貸出し用の最新仕様の機器、あるいは代替品を検討した上で、中止も視野に入れて、今後の対応を検討すべきである。
- ⑮環境活動の成果が、市民に見える、わかるようにする工夫が、さらに求められていると思います。
- ⑯市民の側に、環境活動の常識化、状態化の傾向が増していることから、支援の先に積極的な評価を加え、活動継続へのサポートができれば良いかもしれません。

#### 施策⑮環境に関する情報の発信（p72）

##### 【評価できる点】

- ①様々な媒体を活用し、情報を発信していること。
- ②新たな情報発信手段として、LINE・SNSを活用した情報発信について評価できる。
- ③環境ポータルサイト「ちがさきエコネット」のアクセス数が、計画策定時より増えている。
- ④環境フェア他多くのイベントが開催された。
- ⑤利用者ニーズに即した情報発信及び新たな手段の活用の一環として、新規ツールの有効性を検討し、

様々な媒体を活用して、環境に関する情報を発信している。特に利用者が受信する分野を選択できる機能を導入し、配信を開始したことは評価できる。

- ⑥環境フェアの開催の一環として、昨年度に引き続き、十分な感染対策を取った上で、情報発信を行ったことは評価できる。
- ⑦「年次報告書（令和４年度版）」を作成し、市ホームページでの公表、公共施設に配架したこと、文教大学において、茅ヶ崎市環境基本計画についてのオンライン講義を行ったこと等は評価できる。
- ⑧啓発事業や情報提供施策とともに、本項目の環境情報の発信は、必要なものを自治体が提供可能な形で継続的に行われており、評価できると思います。
- ⑨新しい情報発信手段の活用も、時代になう好ましい取り組みだと感じました。

#### 【今後検討すべき課題】

- ⑩LINE アカウントのアクセス数は？
- ⑪アフターコロナの活動としてどのように展開していくか計画が必要。
- ⑫オンライン発信による環境への取り組みを紹介していく。
- ⑬参加者不明とあるイベントがある。参加者の意見要望、感想を記帳なりヒアリングして次回につなげたい。
- ⑭「環境基本計画こども版」を新４年生、転入生、あるいは各クラス１～２冊程度の共有図書として、教科書等の配布時に合わせる等、事務・業務を増やすことのない配布法を検討すると良い。
- ⑮学校等との連携がうまく進んでいるのに比べ、今後は事業者等との連携による情報発信が求められるかもしれません。企業研修、商工会、商店会との連携などで、環境基本計画や茅ヶ崎市の環境の取り組みなどを紹介し、情報交換する機会を増やしてみたいかがでしょうか。